

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間	2026年1月26日まで（2016年4月13日設定）	
運用方針	<p>JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に投資を行い、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス ファンド（ラップ向け）

第5期（決算日：2021年1月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスファンド（ラップ向け）」は、去る1月26日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配	み 金 期 騰 落 中 率	(配当込み)	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2016年4月13日	10,000	—	—	176.75	—	—	—	1
1期(2017年1月26日)	11,914	0	19.1	210.68	19.2	98.2	1.2	398
2期(2018年1月26日)	15,271	0	28.2	270.10	28.2	99.0	1.0	78
3期(2019年1月28日)	12,808	0	△16.1	226.38	△16.2	98.7	1.3	61
4期(2020年1月27日)	15,310	0	19.5	270.84	19.6	99.5	0.6	1,521
5期(2021年1月26日)	18,530	0	21.0	328.59	21.3	99.6	0.4	1,448

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド(以下「STOXX社」)が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年1月27日	円 15,310	% —	270.84	% —	% 99.5	% 0.6
1月末	15,153	△ 1.0	268.08	△ 1.0	117.8	0.6
2月末	13,653	△10.8	241.64	△10.8	99.5	0.5
3月末	13,286	△13.2	235.15	△13.2	97.9	2.1
4月末	13,948	△ 8.9	247.00	△ 8.8	98.4	1.5
5月末	15,154	△ 1.0	268.45	△ 0.9	99.0	1.1
6月末	15,384	0.5	272.61	0.7	99.3	0.7
7月末	15,022	△ 1.9	266.31	△ 1.7	99.7	0.3
8月末	15,864	3.6	281.35	3.9	99.2	0.8
9月末	16,185	5.7	286.92	5.9	98.8	1.2
10月末	15,716	2.7	278.64	2.9	98.8	1.2
11月末	17,758	16.0	314.95	16.3	96.7	1.2
12月末	18,125	18.4	321.40	18.7	99.2	0.8
(期 末) 2021年1月26日	18,530	21.0	328.59	21.3	99.6	0.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第5期：2020年1月28日～2021年1月26日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第5期首	15,310円
第5期末	18,530円
既払分配金	0円
騰落率	21.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ21.0%の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（21.3%）を0.3%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

第5期：2020年1月28日～2021年1月26日

投資環境について

国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的流行（パンデミック）を受けて下落する局面もありまし

たが、日銀によるETF（上場投資信託）の積極的な買入れや、主要国の経済対策への期待、新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道等が支援材料となり、国内株式市況は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス ファンド（ラップ向け）

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資したことにより、基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

JAPAN クオリティ150イン デックスマザーファンド

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークであるiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスファンド（ラップ向け）

ベンチマークとの乖離は△0.3%程度となりました。

マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト等による影響は△0.4%程度でした。

マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は0.1%程度でした。

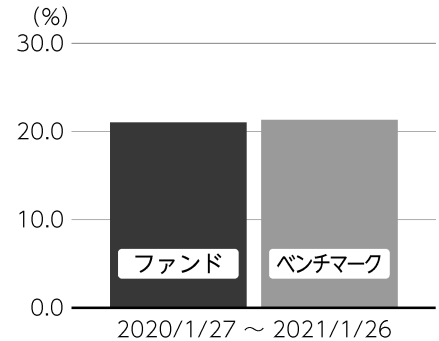
ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：その他の要因*によるものです。

*配当評価差異等が含まれます。

主なマイナス要因：組入要因によるものです。

基準価額（ベビーファンド）と
ベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第5期 2020年1月28日～2021年1月26日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,530

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ **iSTOXX MUTB JAPAN
クオリティ150インデックス
ファンド（ラップ向け）**
マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

▶ **JAPAN クオリティ150イン
デックスマザーファンド**
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

2020年1月28日～2021年1月26日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	47	0.304	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(32)	(0.206)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(8)	(0.054)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.000)	
（先物・オプション）	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	47	0.308	

期中の平均基準価額は、15,609円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

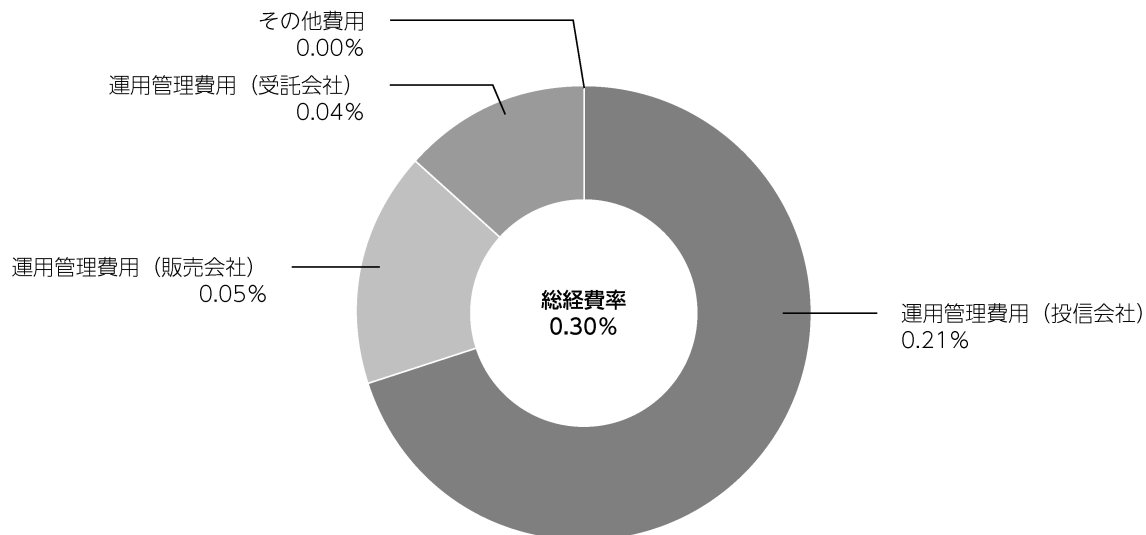
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.30%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年1月28日～2021年1月26日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千口 983,487	千円 1,318,706	千口 1,230,026	千円 1,589,496

○株式売買比率

（2020年1月28日～2021年1月26日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	10,270,720千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,851,290千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.66	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年1月28日～2021年1月26日）

利害関係人との取引状況

< iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスファンド（ラップ向け） >

該当事項はございません。

< JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド >

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	百万円 5,628	百万円 162	% 2.9	百万円 4,641	百万円 247	% 5.3

平均保有割合 37.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年1月28日～2021年1月26日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2021年1月26日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千口 1,142,522	千口 895,982	千円 1,448,445

○投資信託財産の構成

(2021年1月26日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千円 1,448,445	% 99.7
コール・ローン等、その他	5,013	0.3
投資信託財産総額	1,453,458	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,453,458,626
コール・ローン等	4,298,545
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド(評価額)	1,448,445,655
未収入金	714,426
(B) 負債	4,889,598
未払解約金	2,865,018
未払信託報酬	2,006,010
その他未払費用	18,570
(C) 純資産総額(A-B)	1,448,569,028
元本	781,726,941
次期繰越損益金	666,842,087
(D) 受益権総口数	781,726,941口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,530円

<注記事項>

- ①期首元本額 993,705,297円
 期中追加設定元本額 887,089,249円
 期中一部解約元本額 1,099,067,605円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8530円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年1月28日～ 2021年1月26日
費用控除後の配当等収益額	21,159,091円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	218,669,514円
収益調整金額	366,970,775円
分配準備積立金額	60,042,707円
当ファンドの分配対象収益額	666,842,087円
1万口当たり収益分配対象額	8,530円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2020年1月28日～2021年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 186
受取利息	2
支払利息	△ 188
(B) 有価証券売買損益	244,285,602
売買益	290,239,819
売買損	△ 45,954,217
(C) 信託報酬等	△ 4,456,811
(D) 当期損益金(A+B+C)	239,828,605
(E) 前期繰越損益金	60,042,707
(F) 追加信託差損益金	366,970,775
(配当等相当額)	(279,058,063)
(売買損益相当額)	(87,912,712)
(G) 計(D+E+F)	666,842,087
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	666,842,087
追加信託差損益金	366,970,775
(配当等相当額)	(280,120,936)
(売買損益相当額)	(86,849,839)
分配準備積立金	299,871,312

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド

《第6期》決算日2021年1月26日

[計算期間：2020年1月28日～2021年1月26日]

「JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド」は、1月26日に第6期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に投資を行い、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
2期(2017年1月26日)	10,267	15.3%	210.68	14.9%	98.2%	1.2%	1,322
3期(2018年1月26日)	13,199	28.6%	270.10	28.2%	99.0%	1.0%	1,840
4期(2019年1月28日)	11,105	△15.9%	226.38	△16.2%	98.7%	1.3%	2,333
5期(2020年1月27日)	13,315	19.9%	270.84	19.6%	99.5%	0.6%	3,025
6期(2021年1月26日)	16,166	21.4%	328.59	21.3%	99.6%	0.4%	4,814

(注) iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド（以下「STOXX社」）が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、（過失の有無を問わず）いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年1月27日	円 13,315	% —	270.84	% —	% 99.5	% 0.6
1月末	13,179	△ 1.0	268.08	△ 1.0	117.8	0.6
2月末	11,877	△10.8	241.64	△10.8	99.5	0.5
3月末	11,561	△13.2	235.15	△13.2	97.9	2.1
4月末	12,140	△ 8.8	247.00	△ 8.8	98.4	1.5
5月末	13,193	△ 0.9	268.45	△ 0.9	99.0	1.1
6月末	13,397	0.6	272.61	0.7	99.3	0.7
7月末	13,085	△ 1.7	266.31	△ 1.7	99.7	0.3
8月末	13,822	3.8	281.35	3.9	99.2	0.8
9月末	14,106	5.9	286.92	5.9	98.8	1.2
10月末	13,700	2.9	278.64	2.9	98.8	1.2
11月末	15,485	16.3	314.95	16.3	96.7	1.2
12月末	15,809	18.7	321.40	18.7	99.2	0.8
(期 末) 2021年1月26日	16,166	21.4	328.59	21.3	99.6	0.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

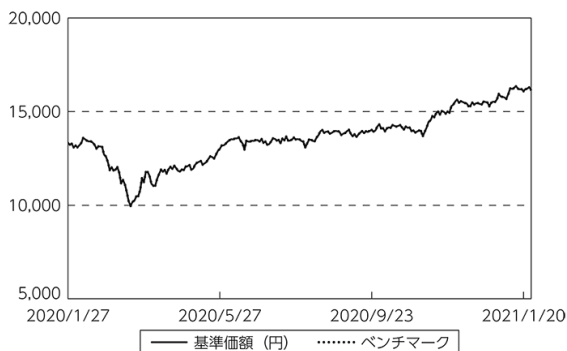
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ21.4%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(21.3%)を0.1%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

● 投資環境について**◎ 国内株式市況**

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的流行（パンデミック）を受けて下落する局面もありましたが、日銀によるETF（上場投資信託）の積極的な買入れや、主要国の経済対策への期待、新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道等が支援材料となり、国内株式市況は上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。
- ・株式ポートフォリオはベンチマークであるiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ベンチマークは21.3%の上昇になったため、乖離は0.1%程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・その他の要因[※]によるものです。

[※]配当評価差異等が含まれます。

(主なマイナス要因)

- ・組入要因によるものです。

○ 今後の運用方針

- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年1月28日～2021年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円	%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	0	0.001	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
合 計	(0)	(0.001)	
期中の平均基準価額は、13,597円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月28日～2021年1月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,508 (44)	千円 5,628,819 (-)	千株 1,271	千円 4,641,901

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	株式先物取引	百万円 612	百万円 621	百万円 -	百万円 -

○株式売買比率

(2020年1月28日～2021年1月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	10,270,720千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,851,290千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月28日～2021年1月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 5,628	百万円 162	% 2.9	百万円 4,641	百万円 247	% 5.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年1月26日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
建設業 (3.3%)				
安藤・間	4.4	—	—	—
コムシスホールディングス	2.8	4	12,300	
大成建設	—	6.6	22,869	
大林組	—	22.7	20,634	
清水建設	16	—	—	
鹿島建設	—	16.7	23,714	
大東建託	1.5	2.2	21,230	
五洋建設	—	9	8,082	
積水ハウス	14.3	20.4	42,962	
協和エクシオ	2.4	—	—	
九電工	1.2	1.7	5,457	
食料品 (5.7%)				
森永製菓	1	1.5	5,985	
寿スピリッツ	0.5	—	—	
カルビー	1.9	2.8	8,932	
ヤクルト本社	3.3	4.7	25,709	
明治ホールディングス	3.2	4.8	33,984	
サントリー食品インターナショナル	2.8	3.9	14,176	
キッコーマン	4.3	6.1	45,689	
カゴメ	—	2.8	9,618	
アリアケジャパン	0.4	—	—	
ニチレイ	—	4.4	13,116	
東洋水産	—	3.2	16,960	
日清食品ホールディングス	—	2.7	24,570	
日本たばこ産業	24.1	34.9	72,592	
繊維製品 (—%)				
ゴールドウイン	0.8	—	—	
化学 (8.6%)				
旭化成	30.8	—	—	
日産化学	3.2	4.6	27,370	
東ソー	7.2	—	—	
信越化学工業	5	5.3	102,290	
積水化学工業	10.1	—	—	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
日油	1.9	2.7	13,500	
花王	6.9	11.8	89,007	
ライオン	6.6	9.4	21,977	
ファンケル	2.2	2.6	10,075	
コーセー	0.8	—	—	
小林製薬	1.4	2.1	24,570	
アース製薬	—	0.6	3,642	
日東電工	—	4.7	43,992	
エフビコ	—	1.8	7,488	
ニフコ	2.1	—	—	
ユニ・チャーム	10.3	14.7	70,074	
医薬品 (13.2%)				
協和キリン	—	7.9	23,368	
アステラス製薬	32.5	58.7	101,756	
大日本住友製薬	3.8	—	—	
塩野義製薬	6.6	9.2	52,412	
日本新薬	1.6	2.2	15,928	
中外製薬	5	18.2	100,700	
科研製薬	0.8	1.1	4,510	
エーザイ	—	9.3	72,549	
ロート製薬	—	3.7	11,562	
小野薬品工業	11	15.7	50,255	
参天製薬	8.8	12.6	21,420	
JCRファーマ	0.4	2.4	5,990	
沢井製薬	1	1.4	6,720	
第一三共	—	26.9	95,602	
大塚ホールディングス	—	15.8	71,068	
ベプチドリーム	2.2	—	—	
ゴム製品 (—%)				
横浜ゴム	3.2	—	—	
ブリヂストン	13.8	—	—	
金属製品 (0.5%)				
SUMCO	5.6	—	—	
三和ホールディングス	4.9	7.3	8,767	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
リンナイ	—	1.3	1.3	14,326
機械 (6.9%)				
三浦工業	2.5	3.6	3.6	21,564
オークマ	0.6	—	—	—
F U J I	2	2.7	2.7	7,676
ディスコ	0.7	1	1	37,650
ナブテスコ	2.8	3.9	3.9	19,149
SMC	—	1.4	1.4	93,044
荏原製作所	—	3	3	11,025
ダイキン工業	3.8	4	4	90,540
アマノ	—	2.2	2.2	5,306
ホシガキ	1.3	—	—	—
マキタ	—	8.8	8.8	45,584
電気機器 (18.8%)				
ブラザー工業	5.8	8.3	8.3	19,206
ミネベアミツミ	9.4	—	—	—
三菱電機	—	60.8	60.8	99,438
オムロン	4.7	—	—	—
富士通	—	6.5	6.5	104,747
エレコム	—	0.8	0.8	4,016
アンリツ	3	4.4	4.4	11,448
富士通ゼネラル	—	2	2	5,186
ソニー	8.2	9.3	9.3	95,650
横河電機	5.9	—	—	—
アズビル	3.2	4.6	4.6	24,564
日本光電工業	—	2.8	2.8	8,848
堀場製作所	0.9	1.3	1.3	8,970
アドバンテスト	—	6.3	6.3	57,330
キーエンス	1.6	1.7	1.7	95,693
シスメックス	3.9	5.5	5.5	71,280
レーザーテック	2.1	3	3	45,150
スタンレー電気	3.4	—	—	—
カシオ計算機	5.4	—	—	—
浜松ホトニクス	3.2	4.6	4.6	29,394
太陽誘電	2.9	—	—	—
村田製作所	9.1	10.4	10.4	110,760
小糸製作所	2.8	—	—	—
東京エレクトロン	2.6	2.5	2.5	111,025

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
輸送用機器 (1.5%)				
いすゞ自動車	13.7	—	—	—
シマノ	1.9	2.7	2.7	69,525
テイ・エス テック	1.2	—	—	—
精密機器 (5.4%)				
テルモ	15.9	22.3	22.3	91,965
島津製作所	6.1	9.3	9.3	38,362
マニー	1.8	2.6	2.6	7,475
HOYA	6.2	7	7	95,550
朝日インテック	5.7	7.5	7.5	25,462
その他製品 (3.6%)				
パンダイナムコホールディングス	4.9	7	7	63,707
ヤマハ	3.7	—	—	—
ビジョン	2.7	3.8	3.8	17,556
任天堂	1.3	1.5	1.5	93,300
陸運業 (1.1%)				
東海旅客鉄道	2.7	—	—	—
山九	1.3	1.9	1.9	7,486
S Gホールディングス	—	15.9	15.9	44,551
空運業 (—%)				
日本航空	7.7	—	—	—
情報・通信業 (12.7%)				
NEC ネットズエスアイ	—	2.9	2.9	5,489
システナ	—	2.2	2.2	4,413
日鉄ソリューションズ	0.8	1.2	1.2	3,894
T I S	1.9	8.3	8.3	18,102
コーエーテックモホールディングス	—	1.7	1.7	10,489
ネクソン	10.5	14.7	14.7	48,069
S H I F T	—	0.3	0.3	3,783
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	—	1.5	1.5	3,846
GMOペイメントゲートウェイ	—	1.4	1.4	22,302
チェンジ	—	0.9	0.9	3,226
野村総合研究所	9.3	12.1	12.1	45,254
オービック	1.6	2.3	2.3	48,254
ジャストシステム	0.7	1	1	7,750
トレンドマイクロ	2.8	4.4	4.4	24,728
日本オラクル	0.7	1	1	13,050
伊藤忠テクノソリューションズ	2.3	3.3	3.3	12,144
大塚商会	2.9	4.1	4.1	22,140

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
デジタルガレージ	0.8	—	—	—
ネットワンシステムズ	1.9	2.7	9,963	—
日本ユニシス	1.8	2.5	10,012	—
日本電信電話	—	35.4	95,597	—
KDD I	18.8	31	102,300	—
光通信	0.5	0.7	15,085	—
NTTドコモ	19.8	—	—	—
東宝	3	—	—	—
エヌ・ティ・ティ・データ	14.2	20.2	30,461	—
スクウェア・エニックス・ホールディングス	2	2.9	16,965	—
カプコン	2.1	3	21,060	—
S C S K	1.1	1.6	9,056	—
コナミホールディングス	2.3	—	—	—
卸売業 (0.7%)				
神戸物産	1.6	4.6	13,823	—
シップヘルスケアホールディングス	1	—	—	—
第一興商	1	—	—	—
アズワン	—	0.5	8,105	—
伊藤忠商事	24	—	—	—
日立ハイテック	1.5	—	—	—
岩谷産業	—	1.5	10,440	—
ミスミグループ本社	6.3	—	—	—
小売業 (6.4%)				
エービーシー・マート	0.7	—	—	—
MonotaRO	3	4	20,680	—
マツモトキヨシホールディングス	2.3	3.2	13,392	—
ZOZO	—	3.4	10,006	—
ウエルシアホールディングス	1.1	3.3	11,863	—
コスモス薬品	0.3	0.8	13,040	—
セブン&アイ・ホールディングス	—	25.4	102,590	—
ツルハホールディングス	0.9	1.4	19,530	—
クスリのアオキホールディングス	0.5	0.6	5,088	—
スシローグローバルホールディングス	0.6	—	—	—
良品計画	5.8	—	—	—
スギホールディングス	0.9	1.3	9,451	—
日本瓦斯	—	1.2	6,096	—
ヤオコー	—	0.9	6,048	—
ケーズホールディングス	5.2	6.7	9,554	—
アインホールディングス	—	0.9	5,940	—

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
ニトリホールディングス	2.1	3	64,830	—
ファーストリテイリング	0.9	—	—	—
サンドラッグ	1.7	2.4	9,828	—
銀行業 (0.1%)				
セブン銀行	16	22.9	5,289	—
保険業 (1.5%)				
SOMPOホールディングス	8.2	11.8	50,008	—
MS&ADインシュアランスグループホール	11.1	—	—	—
ソニーフィナンシャルホールディングス	3.4	—	—	—
第一生命ホールディングス	26.4	—	—	—
東京海上ホールディングス	9.9	—	—	—
T&Dホールディングス	—	18.9	23,398	—
その他金融業 (1.1%)				
全国保証	1.2	2.2	10,043	—
オリックス	29.2	—	—	—
日本取引所グループ	—	16.9	44,810	—
不動産業 (0.5%)				
オープンハウス	1.5	2.1	8,620	—
飯田グループホールディングス	—	6.1	14,206	—
パーク24	2.8	—	—	—
サービス業 (8.4%)				
ミクシィ	—	1.4	3,526	—
日本M&Aセンター	3.2	4.9	28,861	—
エス・エム・エス	1.6	2.2	8,987	—
パーソルホールディングス	—	6.1	11,919	—
総合警備保障	2	2.8	14,588	—
カカオコム	2.9	4.1	12,341	—
ベネフィット・ワン	1.8	2.5	7,862	—
エムスリー	9.9	10.5	105,997	—
インフォマート	—	6.8	6,269	—
ケネディクス	—	1.3	972	—
オリエンタルランド	4.1	—	—	—
ユー・エス・エス	5.5	7.9	16,376	—
エン・ジャパン	0.8	1.2	3,672	—
テクノプロ・ホールディングス	0.8	1.1	8,976	—
リクルートホールディングス	14.9	21.8	100,563	—
ペイカレント・コンサルティング	—	0.4	6,968	—
共立メンテナンス	0.6	—	—	—
カナモト	0.9	—	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
		株 数	株 数	評 価 額
セコム	千株	千株	千円	
	—	6.9	65,087	
合 計	株 数 ・ 金 額	765	1,047	4,795,778
	銘柄数 < 比率 >	150	150	< 99.6% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
 (注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
国内 株式先物取引 TOPIX	百万円 18	百万円 —

○投資信託財産の構成

(2021年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 4,795,778	% 99.0
コール・ローン等、その他	47,373	1.0
投資信託財産総額	4,843,151	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,842,901,068
コール・ローン等	38,622,717
株式(評価額)	4,795,778,900
未収入金	134,450
未収配当金	7,700,001
差入委託証拠金	665,000
(B) 負債	28,588,376
未払金	27,873,942
未払解約金	714,426
未払利息	8
(C) 純資産総額(A-B)	4,814,312,692
元本	2,977,971,688
次期繰越損益金	1,836,341,004
(D) 受益権総口数	2,977,971,688口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,166円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,272,386,475円
 期中追加設定元本額 2,625,220,846円
 期中一部解約元本額 1,919,635,633円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6166円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

eMAXIS JAPAN クオリティ150インデックス	996,463,958円
iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスファンド(ラップ向け)	895,982,714円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	501,270,516円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2(適格機関投資家限定)	329,223,333円
国内株式セレクション(ラップ向け)	231,938,514円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	18,880,316円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	4,212,337円
合計	2,977,971,688円

○損益の状況 (2020年1月28日～2021年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,036,798
受取配当金	70,037,763
受取利息	223
その他収益金	14,864
支払利息	△ 16,052
(B) 有価証券売買損益	798,979,402
売買益	1,064,079,593
売買損	△ 265,100,191
(C) 先物取引等取引損益	10,295,200
取引益	16,492,050
取引損	△ 6,196,850
(D) 当期損益金(A+B+C)	879,311,400
(E) 前期繰越損益金	753,186,195
(F) 追加信託差損益金	863,663,332
(G) 解約差損益金	△ 659,819,923
(H) 計(D+E+F+G)	1,836,341,004
次期繰越損益金(H)	1,836,341,004

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。